

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月21日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福津市	代表者名	原崎 智仁
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0940-43-8197
担当者役職		担当者氏名	
住所	811-3217 福岡県福津市中央		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	これまでの情報化やインフラ整備を例に挙げて、これからのICT活用の展望などを解説いただいた。参加した市民が自ら地域情報化のために活動する意欲を高めた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年2月16日	15時30分	17時15分		105
3-2. 派遣場所	会場名	福津市役所		最寄駅	オンライン
	所在地	福津市中央1-1-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩10分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	一般	28人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市内の10歳代から50歳代までの10歳きざみのICT普及率は99%から92%と90%を超えているが、60歳代以上は、80%、52%、25%と落ちている。ICT機器は、買い物支援、移動支援、安否確認などを担うことができるので、普及率を上げ、さらに活用を広げたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市民が安心してスマホなどを利用できるよう、地域で自ら学習会をしたり、相談できる体制を作りたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	参加者に地域情報化によって買い物支援や移動の問題を解決できる具体例を示した後、参加者がグループで現状を話しあった。この体験をもって、高齢者がスマホを持つことにより、社会ではより「自分にもやさしいことにつながる」ということを実感してもらえた。参加者がロコミなどで持っていない人への啓発をするとともに、自らが地域のコミュニティーでネットを活用した解決できることを理解してもらった。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	今後は、集会所に集い、ネットの動画などで勉強会を始める地域が出るのが期待でき、ICT機器の普及が進むとともに、活用の情報交換も活発に行われそう。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> その他
	今後は、集会所に集い、ネットの動画などで勉強会を始める地域が出るのが期待でき、ICT機器の普及が進むとともに、活用の情報交換も活発に行われそう。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	このような機会をもっと持って欲しいとの要望があったが、予算はない。市民自らが活動できるよう 広報していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果 についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	別紙	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	多くの市民が地域情報化の情報に触れ、地域コミュニティのより深い実践を進めるためICT技術を活用する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

